



Express Setup

- Express Setup の実行 (1 ページ)
- WebUI の起動 (4 ページ)

Express Setup の実行

Express Setup を使用して、初期 IP 管理情報を入力します。その後、ブラウザにスイッチの IP アドレスを指定することで、スイッチの WebUI にアクセスして、Day 1 の設定を完了することができます。

スイッチを設定するには以下の機材が必要です。

- Windows または Mac を実行しているコンピューター。
- JavaScript が有効な Web ブラウザ。

Google Chrome 38 以降、Mozilla Firefox 35 以降、または Apple Safari 7 以降。

- カテゴリ 5 または 6 のストレートケーブルまたはクロスケーブル
- ボタンに届く小さなペーパークリップ。



(注)

一方の端が RJ45 で、他方の端が M12 X コード (Catalyst IE-3100H-8T-E の場合)、または D コード、X コード (Catalyst IE-3100H-6FT2T-E の場合) のケーブルがそれぞれ必要です。



(注)

Express Setup の実行前に、ブラウザのポップアップブロックやプロキシ設定、および PC で実行しているワイヤレス クライアントを無効にします。

Express Setup を実行する方法

手順

- ステップ1** スイッチに何も接続されていないこと、およびSDカードのカバーが取り外されていることを確認します。

Express Setup の実行中、スイッチは DHCP サーバとして動作します。PC に固定 IP アドレスが設定されている場合は、次の手順に進む前に、PC の固定 IP アドレスをメモし、PC の設定を変更して DHCP を使用するように一時的に設定します。

- ステップ2** スイッチに電源を接続します。

ブートシーケンスが開始されます。このプロセスには最大 90 秒かかります。ブートファスト中は、SYS LED が緑色に点滅します。他の LED は緑色に点灯したままになります。ブートファストが完了すると、SYS LED が緑色に点灯し、Express Setup LED が緑色に点滅し始めます。

SYS LED が点灯しない場合（システムの電源が未投入）、緑色に点滅し続ける場合（POST が進行中）、または赤色に点灯する場合（障害が発生）は、Cisco Technical Assistance Center (TAC) にお問い合わせください。

- ステップ3** Express Setup ボタンを 2 ~ 3 秒間押します。これは、パネルの後ろにあるくぼんだボタンです。ペーパークリップなどの簡単な道具を使用できます。

Express Setup ボタンを押すと、スイッチポート 1/1 が緑色に点滅し始めます。

- ステップ4** スイッチを PC のイーサネットポートに接続します。

スイッチの接続を設定している間は、PC とスイッチのポート LED が緑色に点滅します。ポート LED が緑色のままの場合は、接続に成功したことを示しています。

約 30 秒経過してもポート LED が緑色にならない場合は、次を確認してください。

- 使用しているケーブルが破損していないこと。
- 他のデバイスがオンになっていること。

- ステップ5** PC 上でブラウザ セッションを開始します。

ブラウザの URL バーに IP アドレス 192.168.1.254 を入力します。セキュリティ警告が表示された場合は、クリックしてリスクを受け入れ、続行します。ログインプロンプトが表示されます。

- ステップ6** [ユーザ名 (Username)] と [パスワード (Password)] を入力します。

ユーザー名は「admin」、パスワードはスイッチ側面の SD カードカバーの横にあるシステムシリアル番号です。

また、コンソール経由で接続している場合は、ブートログでシステムのシリアル番号を確認できます。

[Configuration Setup Wizard Setup] Web ページが表示されます。

(注)

セットアップの Web ページが表示されない場合は、ブラウザのポップアップブロックやプロキシ設定をすべて無効にし、PC のワイヤレスクライアントがオフになっていることを確認してください。

ステップ7 4つの Web ページの最初のページが表示されます。Express Setup を完了するには、4つの Web ページすべてを順次移動する必要があります。[Account Settings] ページで、「*」が付いているすべてのフィールドに値を指定します。

- [Login Name] にログイン名を入力します。
- [Command Line Password] は、ドロップダウンメニューから [Command Line Password] に設定する必要があります。
- [Date & Time] は、オプションでドロップダウンメニューから [NTP Time] に設定します。

ステップ8 設定が正しい場合は、[Basic Settings] をクリックします。

[Basic Settings] ウィンドウが表示されます。

- IP アドレスを入力します。（このフィールドは必須です）。
- SSH : 有効化ボックスをクリックします。
- （すべての必須フィールドに対処するには、右側のスクロールバーを使用して下にスクロールします）

ステップ9 [Switch Wide Settings] をクリックします。

[Switch Wide Settings] ウィンドウが表示されます（このページには必須フィールドはありません）。

ステップ10 [Summary] をクリックします。

[Summary] ウィンドウが表示されます。

ステップ11 要約に表示される情報が正しいことを確認し、準備ができたら [Submit] をクリックします。

エラーが発生した場合は、次の手順を実行します。

- 接続の確認 :

- コマンドプロンプトを開き、ping 192.168.1.254 と入力すると、すべての応答が受信されるはずです。
- スイッチから PC を抜かないでください

- エラーが発生した場合、または IE スイッチを製造デフォルトに戻す場合 :

- IE スイッチを工場出荷時のデフォルトに戻すには、ペーパークリップ（または同等のもの）を Express Setup のくぼみに 15 ~ 20 秒間挿入します。Express Setup LED を確認し、赤色と緑色に交互に点滅したらペーパークリップを離します。

- 15 秒後にペーパークリップを離すと、IE スイッチが自動リロードします。
- 再起動後、IE スイッチは工場出荷時のデフォルトになります。約 120 秒待ちます。
- Express Setup LED が緑色に点滅したら、Express Setup 手順を再開します。



(注)

Express Setup を長押しすると（ボタンを 15 秒間押すと、スイッチがリセットされ、工場出荷時のデフォルト設定が使用されます）、フラッシュおよびリムーバブルメディア（SD カード）から設定（nvram_config および vlan.dat）が削除されます。SD カードからファイルを削除したくない場合は、リムーバブルメディアを取り外します。

- リセット手順
- 画面の命名と [Power] ページの命名
- PC を切断し、もう一度やり直す

次のタスク

WebUI または CLI を使用してスイッチを管理できるようになりました。

WebUI の起動

次の手順で WebUI を表示します。

手順

ステップ 1 PC またはラップトップコンピュータで Web ブラウザを起動します。

ステップ 2 Web ブラウザでスイッチの IP アドレス、ユーザー名、およびパスワード（手順 8 で割り当て済み）を入力し、**Enter** を押します。WebUI ページが表示されます。

WebUI ページが表示されない場合：

- ネットワークに接続しているスイッチポートのポート LED が緑色になっていることを確認します。
- スイッチへのアクセスに使用している PC がネットワークに接続されていることを、ネットワーク内の既知の Web サーバに接続して確認します。ネットワークに接続していない場合は、PC でネットワーク設定のトラブルシューティングを実行してください。
- ブラウザで入力したスイッチの IP アドレスが正しいことを確認します。
- スイッチの IP アドレスと同じサブネット内の固定 IP アドレスを PC に設定します。

- PC やラップトップコンピュータに接続されているスイッチポートの LED が緑色の場合は、Web ブラウザにスイッチの IP アドレスを再入力し、WebUI を表示します。
-

WebUI の起動

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。